

## 平成24年度第2回東大阪市環境審議会 議事要旨

1. 開催日時 平成24年7月24日(火) 午前11時から12時まで

2. 開催場所 東大阪市総合庁舎18階 大会議室

### 3. 出席者

(委員)

黒田会長、石井委員、川口秀子委員、山口康一委員、森委員、福永委員、  
茨木委員、島村委員、川口哲秀委員、松浦委員、藤戸委員、山口一樹委員、  
辻井委員

(事務局)

石田環境部次長、井澤環境企画課長、環境企画課総括主幹 仲西  
環境企画課主査 森本、環境企画課主任 太田、環境企画課 岡崎

### 4. 議題

- (1) 平成23年度第2次環境基本計画実施状況について
- (2) リーディングプロジェクトについて

### 5. 会議経過

- (1) 平成23年度第2次環境基本計画実施状況について  
事務局より計画の概要及び23年度の実施状況について説明。
- (2) リーディングプロジェクトについて  
事務局よりリーディングプロジェクトについて説明。

質疑・意見

(松浦委員)

温暖化対策として、緑化に取り組んでいる旨の記載がありますが、学校の植栽に対して、一部の方から枯れ葉や枯れ枝によって、美観が悪くなるといった否定的な意見があったため、木を伐採したというケースがありました。そのような一部の否定的な意見があったとしても、すぐに対応するのではなく、環境保全の観点から調整を図っていただきたい。

(事務局)

庁内の各部局から構成する環境対策委員会には、教育委員会からも委員が選出されています。そこでご意見につき報告し、調整を図るようにしていきたい。

(藤戸委員)

市の取組みについて、どの程度の重点性をもって取り組まれているのかが分かりません。取組みにかかる費用や人件費、人員、時間、未使用の費用についてご報告いただき、それをもって重点性を判断させていただきたい。また、自分はボランティアとして生駒で観察会などを行っているが、東大阪市が生駒山系の自然保護のために、どの程度、力を入れているのかが分かりません。八尾市や四條畷市では費用をかけて保存に取り組んでいます。また、大阪府やみどり公社においても様々な取組みがなされていますが、東大阪市として、どのように取り組んでいるのかを示していただきたい。

(事務局)

委員からのご指摘のとおり、取組みに対する検証等は必要であり、次回の委員会においては、より詳細な資料を提示できるようにしたい。

(福永委員)

障害者やお年寄りへの配慮を、環境面からも進めていただきたい。

(事務局)

本計画の「誰にもやさしいまちをつくる」という項目において、高齢者や障害者に配慮した建築物の審査や住宅改造費の助成を通じてバリアフリー化を図っています。

(福永委員)

聴覚障害者に対しても、行政が前に出て取り組んでいただきたい。

(松浦委員)

安心安全なまちづくりのために、警察や交通安全自動車協会などと連携しながら進めていただきたい。

(山一樹委員)

資料1の4ページに、「雨天のため、実施できませんでした」との記載がありますが、代替日などを設けないのでしょうか。疑問に思います。また、市内の各事業所では、温暖化対策に取り組まれていると思いますが、各々の省エネの方法や推進体制、設備ごとのエネルギー削減手段などを聞き取り、その内容を記載した手引きを配布することで、更なる温室効果ガスの削減につながるのではないのでしょうか。

(島村委員)

啓発用のエコバックを配布しているようですが、配布場所に偏りがあるのではないのでしょうか。

(事務局)

行き届かない点については、今後、検討させていただきます。

(藤戸委員)

レジ袋の削減については、その削減のために新たな施策が必要になるため、全体として考えたときに、資源の有効活用につながるのか論議があります。

(事務局)

取組みの効果については、今後、検証していく必要があると考えています。

(松浦委員)

レジ袋1枚につき、おちょこ一杯分の石油を使用しています。そのため、レジ袋の代わりにエコバッグを利用することで、石油資源の節約につながり効果があるものと考えています。

(茨木委員)

風力や水力発電については、東大阪市の地域的条件からなじみにくいと思いますが、太陽光発電について、市が率先して大規模施設を遊休地に設置し、啓発するような計画はないのでしょうか。

(事務局)

大規模太陽光発電施設の設置については、遊休地の活用、財政面等を含め他部局にまたがるため、環境部だけで行うのは難しく、今後の参考とさせていただきたい。

(黒田会長)

市関連施設の温室効果ガス削減率について、資料には目標を達成していると記載されていますが、今後も、毎年1パーセントずつ削減していく予定でしょうか。

(事務局)

資料の計画については、平成17年度を基準に、平成19年度から23年度までの5ヵ年計画として推進し、最終的な目標を達成できました。また、今年度から第2期計画をスタートしており、5年間で9.9パーセント削減するという目標達成に向け、平成28年度まで推進していくものであります。

(川口哲秀委員)

昔は生駒山系の七谷に水車があるなど、生駒山系には水資源が豊富にあるため、川沿いに小規模水力発電設備を設置してはいかがでしょうか。身近なところから始めることが大切だと思います。

(事務局)

市域の自然的社会的条件に応じた施策を進めてまいります。

## 6. 配布資料

資料1 平成23年度第2次環境基本計画実施状況報告書（事前送付）

資料2 東大阪市第2次環境基本計画 概要版

資料3 リーディングプロジェクトに係る課題事業